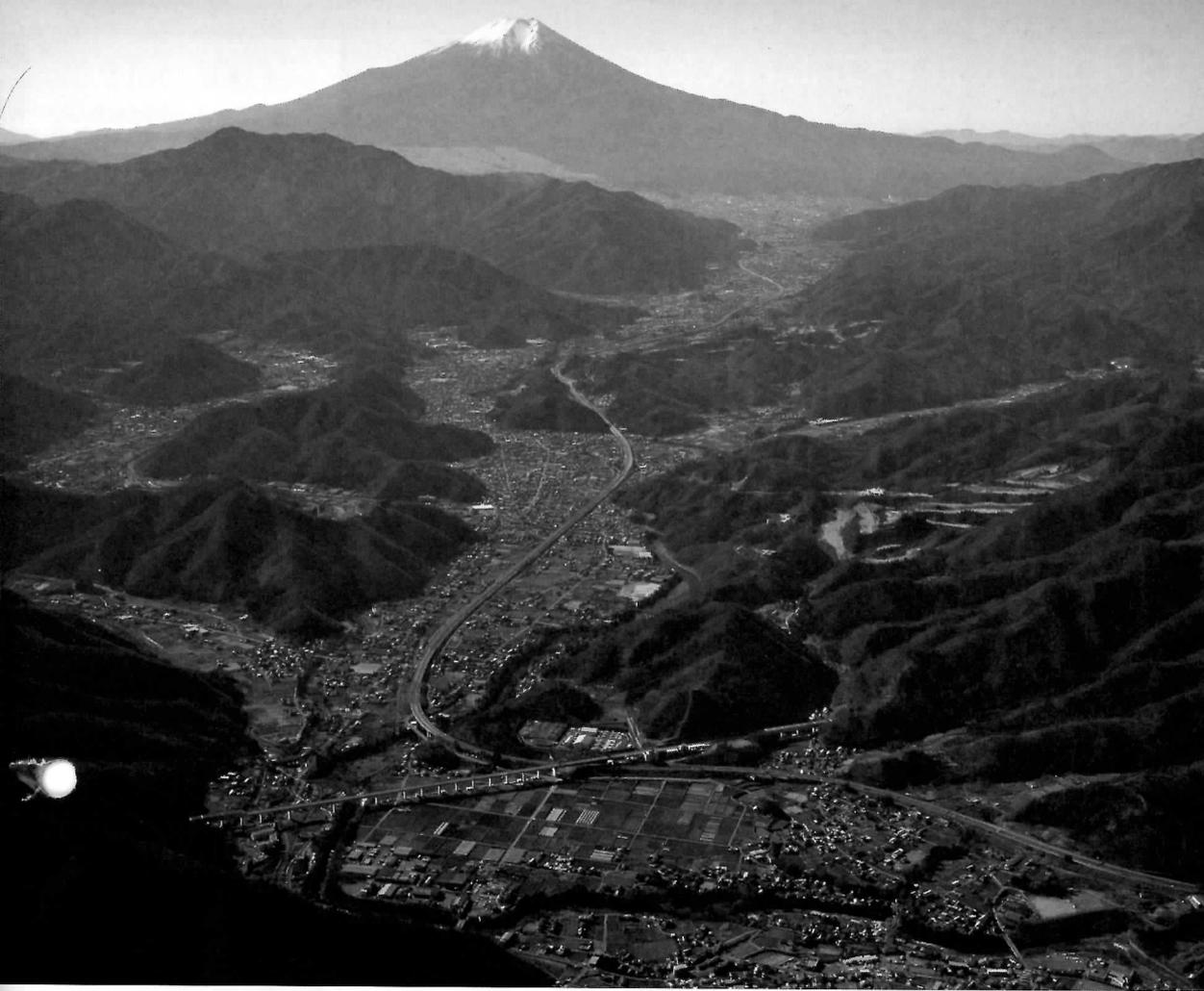


# 定住人口の増加に向けて



## 都留市の人口

都留市の人口の推移を国勢調査で見ると、昭和40年時点では30,320人でしたが、その後少しずつ増加し、平成7年には35,000人を超え、35,398人となりました。そして、その後も人口は増加し、平成12年には35,513人で、ピークを迎えます。その後、平成17年には35,017人となり、微減します。しかし、この時点ではまだ35,000人台を保っています。しかし、昨年行われた国勢調査の速報値によると、本市の人口は33,600人と、平成2年調査時と同程度の数にまで落ちこんでいます。

この昨年の調査結果を、平成17年度の調査結果と比較すると、5年間で1,417人の減少となり、1年あたりでは約283人も人口減となっています。

人口の減少原因はいくつかありますが、「少子高齢化」が進む現在では、死亡数が出生数を上回る「自然減」による減少が全国的に見られます。しかし、本市の人口減少割合は、この「自然減」を上回っているものと思われる。このまま人口が減少を

続けることは、まち自体の活力が失われ、空き家・空き地などの増加や、経済活動の低下など、大きな弊害が生まれないとも限りません。

■都留市の人口推移 出典：国勢調査

